眼瞼下垂症

形 成 外 科

今井　　章仁
新井 孝志郎
内田　　槙治

症状

眼があきにくい
上の方が見えない

無理に力んで見ようとして
肩がこる
頭が痛くなる

原因

◎先天性

- 生まれつき

◎後天性

- 腱膜性 … 筋肉がゆるむ

  ≪なりやすい人≫

  コンタクトレンズ使用
  目をこする　など

- 皮膚性 … 皮膚がゆるむ

  ≪なりやすい人≫

  加齢
  ひとえまぶた　など

治療

◎手術（保険診療です）

【眼瞼挙筋前転法】

- まぶたをあげる筋肉を縮める

【筋膜移植法】

- まぶたと眉毛を裏でつなぐ
- 眉毛をあげると眼が開く

【その他のもの】

- 余分なまぶたの皮膚を切り取る
- 糸でつり上げる

手術後の経過

＜腫れ＞

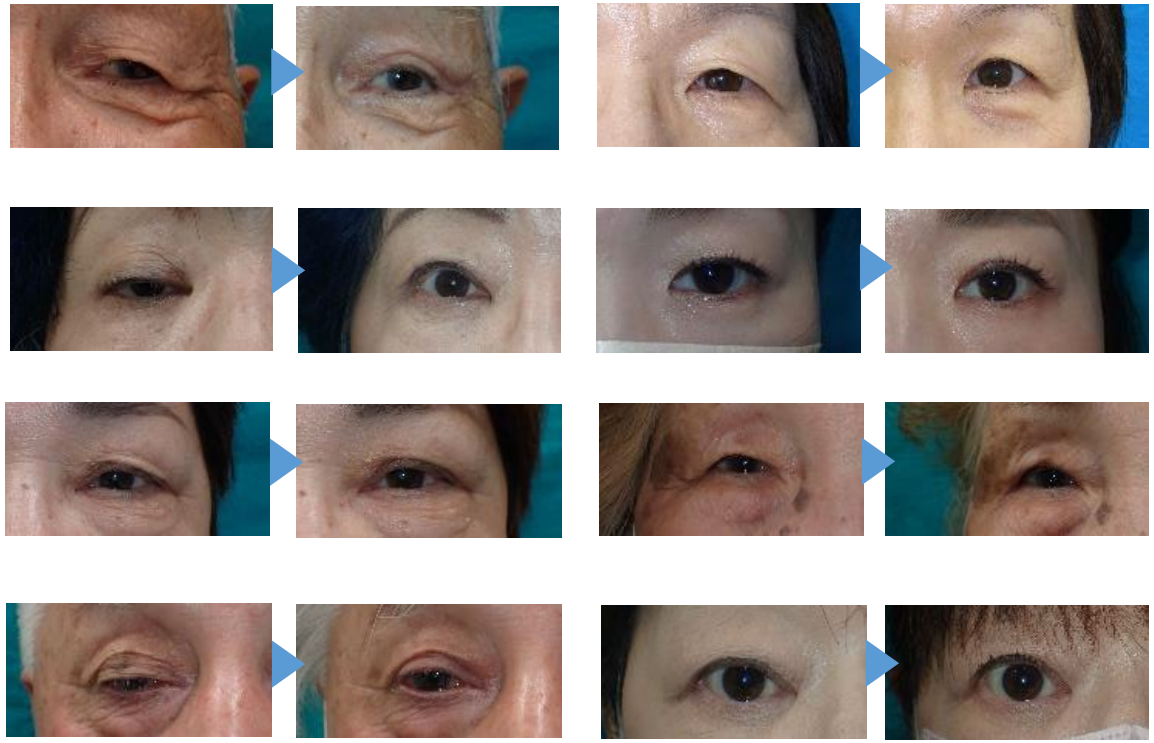
- まぶたが腫れます
- 1～２週間くらいで腫れがひいてきます
- 冷やすと腫れが早くひきます

＜内出血＞

- まぶたが紫色になります
- 2～３週間くらいで吸収され消えてきます

【傷跡は通常数か月で落ち着きます】

症例



～ご協力いただいた皆様ありがとうございます～

注意点

◎左右差がでることがあります

・左右の形が全く同じになることはありません

◎数か月から数年でまた下がってくることがあります

・再発したときは再手術することがあります

◎保険外の治療は行っていません

・当院では見た目をよくする目的の治療はしません

ご相談は形成外科外来へ

☆ 紹介状がなくても受診できます ☆

受付時間	月	火	水	木	金
8～11時	今井	新井	内田	今井	新井
13～15時			内田		